



LAKE BIWA MUSEUM

滋賀県立
琵琶湖博物館

〒525-0001 滋賀県草津市下物町1091
TEL.077-568-4811(代) FAX.077-568-4850
URL <http://www.lbm.go.jp/>

うみんど

湖 人

2008.4
春

第46号

- 館長座談 博物館での「しごと」・「あそび」琵琶湖博物館は「ずるい」? 4
- 研究最前線 中国・太湖の家船生活者と水辺環境/湖国のエコなおけ風呂 6
- 博物館人/どこでも博物館/交流ノート 7



糞を転がすスカラベティフォン

ファーブル昆虫記の中でも最も有名なフンコロガシは、動物の糞を玉にして後ろ足で転がして巣に運び、そこに卵を産んで幼虫の餌とする。



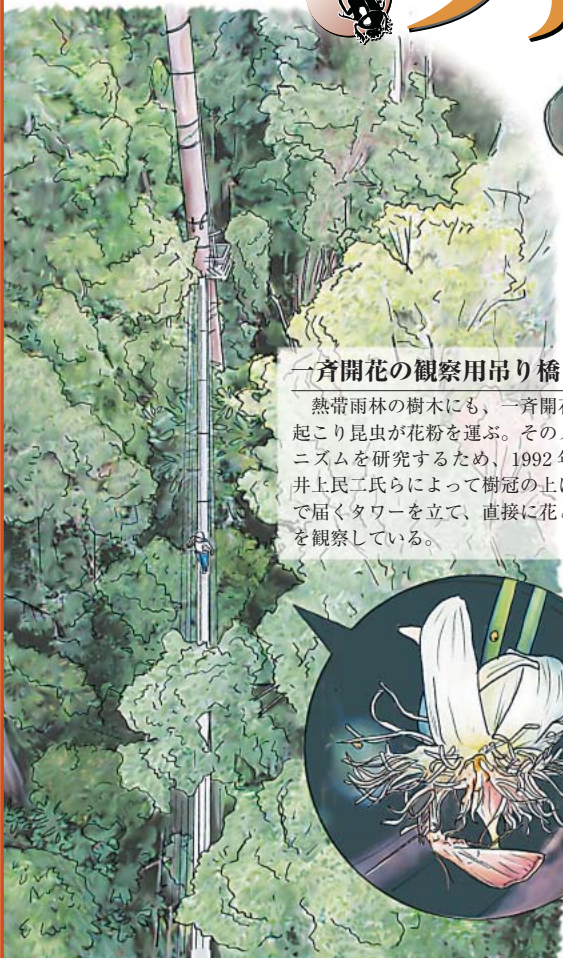
ファーブル著『昆虫記』を読む

日本で最初に翻訳されたのは、1922(大正11)年、その後多くの翻訳本が出され、また教科書にも紹介され、その生き方が共感を得、昆虫観察のファンを増やした。

『昆虫記』刊行100年記念日仏共同企画

特集

ファーブルに まなぶ



一斉開花の観察用吊り橋

熱帯雨林の樹木にも、一斉開花が起こり昆虫が花粉を運ぶ。そのメカニズムを研究するため、1992年に井上民工氏らによって樹冠の上に乗るべくタワーを立て、直接に花と虫を観察している。



ジャン-アンリ・ファーブル

化学、物理、生物などの多くの科学書を著し、その後56歳で『昆虫記』第1巻を、84歳までに全10巻を刊行、1915年に91歳で亡くなった。

匂い源探索ロボット

ファーブルがその現象を初めて発見しながら、原因解明には至らなかった昆虫のフェロモンの研究。今ではカイコの触角をセンサとするロボットが作られている。

